

**令和3年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和3年12月
海老名市立杉本小学校**

令和3年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

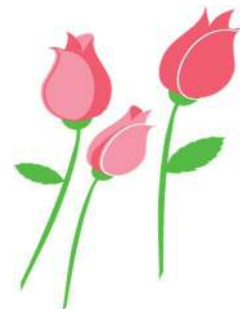
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

令和3年5月27日(木)



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。
- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。
- ・自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること。
- 資料を用いた目的を理解することができること。
- 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと。

◆課題のある点

- 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- 文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章と図表などの関係を捉えて読むために、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにしたり、文章と図表などの情報を合わせて読んだりすることができるように指導していきます。
- 漢字の学習では、読み方や字形に注意して繰り返し練習するだけでなく、自分が書いた文章を読み返す中で正しい使い方を習得できるようにしたり、漢字を使って文や文章を書くという機会を設定したりすることで、日常生活の中で適切に使うことができるように指導していきます。
- 修飾と被修飾との関係に気を付けて、文の構成を理解するために、修飾語を加えて文を詳しくしたり、修飾語がどの語句を詳しくしているのかをはっきりさせたりすることを指導していきます。また、修飾語は直前や直後の語句だけを詳しくするのではなく、離れた語句を修飾する場合もあることを理解できるようにしていきます。
- 国語科の校内研究のめざしている「かかわり合いながら、主体的に学ぶ子どもの育成」に沿って、児童相互の意見交換を通して、理解力や表現力が深まるよう、交流の機会を増やしていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題場面から、必要な数量を選択し、事柄や関係を数学的に表現・処理することができるかどうかをみる。
- ・伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解しているかどうかをみる。
- ・日常生活に必要な時刻を求めることができるかどうかをみる。
- ・基本図形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。
- ・量の基本的な性質について理解しているかどうかをみる。
- ・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて記述できるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読み取ったりすることができるかどうかをみる。
- ・帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することができるかどうかをみる。
- ・設定した問題に対して集めるべきデータを判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の意味について理解しているかどうかをみる。
- ・小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考え表現することができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解していること。
- 日常生活に必要な時刻を求めること。
- 除法の結果について、日常生活の場面に即して判断すること。

◆課題のある点

- 基本図形の面積の求め方について理解していること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 図形の面積の学習では、公式を導き出す過程において、図形のどこの長さに着目すると面積を求めることができるのかを理解できるように指導していきます。また、公式を用いる上で図形と公式とを関連付け、面積を求めるために必要な情報を選び出す活動を数多く取り入れていきます。
- 「数量や図形についての基本的な知識・技能」は、ドリル学習等を活用し、今後も繰り返すことにより、定着を図ります。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 国語・算数ともに「国語(算数)の勉強は大切だと思いますか」に対して、ほぼ全員が「大切だと思う」と答えています。また、どちらの教科においても、「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えている割合が高くなっています。
- 学校の授業時間以外に、読書をする児童の割合が全国平均に比べて高く、読書への関心の高さがうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていると答えている児童の割合がやや低くなっています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 約9割の児童が同じくらいの時刻に起床することができます。また、ほぼ全員の児童が朝食を毎日食べています。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」だと思っている児童が多数を占めています。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができます」と答えている児童の割合が低くなっています。

今後の具体的な取組について

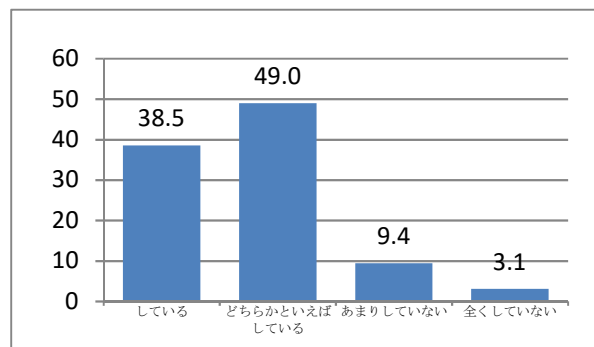
- 国語科の校内研究において、理解力や表現力を高めるための指導や、かかわり合う活動を取り入れた学習を計画し、主体的な子どもの育成に取り組んでいます。児童相互がかかわり合うことで、考えを深め、学び合う楽しさやよりよい表現ができるように支援していきます。
- 自分の思いや考えを言葉で表すことができるようにするため、国語の授業時間以外にも、語彙を増やすために国語辞典を活用したり、読書活動を推進したりしています。また、児童の思いを抵抗なく表現できるようにするため、話したり、聞いたりする見本の型(話型)を掲示し、活用していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 規則正しい生活を 送みましょう。

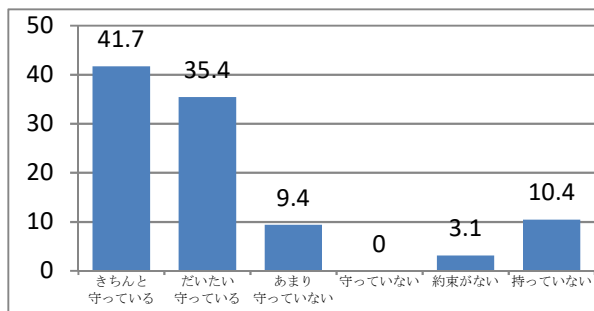
起床時刻に比べて、就寝時刻にばらつきがあるようです。夜更かしをしたり、テレビやゲームの画面などから強い刺激を受けたりすると、睡眠の質が低下すると言われています。就寝前の過ごし方を見直し、規則正しい生活を送りましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 ルールを決めて使用し ましょう。

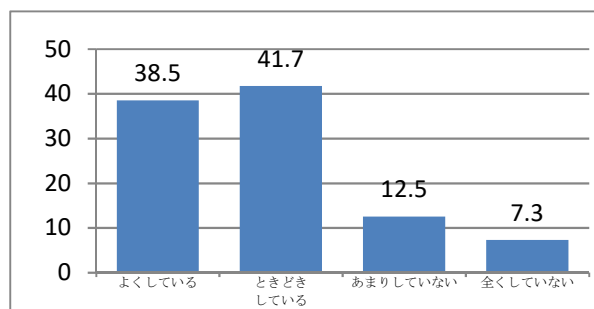
携帯電話やスマートフォンに関しては、使い方の約束を守れていると答えた割合が高くなってきています。今後も児童が適切に使用できるように定期的にご家庭で話し合い、ルールを見直しましょう。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

3 計画的に家庭学習に 取り組みましょう。

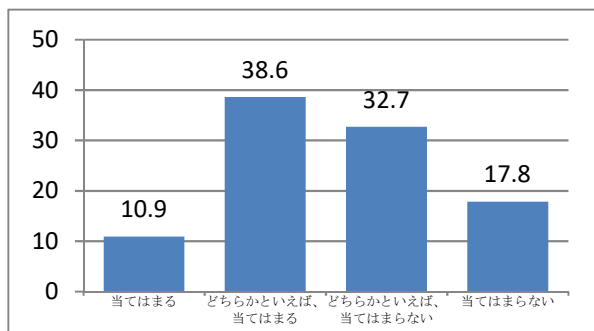
家庭で計画を立てて学習に取り組んでいる割合は、以前より高くなってきています。今後も自学自習の習慣を身につけるために、児童自らが計画を立てて学習に取り組めるような支援を図りましょう。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

4 地域とのかかわりを 大切にしましょう。

地域や社会について考えることが少ないようです。家の人との支えとともに、地域や社会との結びつきが生活を支えています。地域の行事に参加したり、家族で地域について話したり、地域とつながる機会をつくりましょう。



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

